

会議名	令和元年度第5回海老名市市民活動推進委員会
日時	令和2年3月7日（土）午後0時45分から午後4時
場所	海老名市役所7階703会議室
出席者	<p>【市民活動推進委員会委員（7名）】 堀尾委員長、根岸副委員長、大島委員、内山委員、瀬戸委員、勝田委員、渋谷委員</p> <p>【事務局（4名）】 中島課長、古賀係長、井上主事、丸橋主事</p>

【会議概要】

1 開会（進行：事務局）

2 委員長挨拶（堀尾委員長）

3 議題

（1）プレゼンテーション審査方法について

各委員が、9項目の基準について各5点満点で評価を行い、合計45点満点とする。
各委員の評価結果から平均点を算出し、27点以上を補助の対象とする。

（2）プレゼンテーション審査

① 【入門編】みんご倶楽部

事業名称：子供食堂事業「みんご食堂」

申込額：100,000円

事業内容：子供食堂（食事の提供とその後の遊びの場の提供、学習支援、絵本の読み聞かせなど）

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

（委員）参加者はメールや電話で事前予約となっているが、当日飛び入り参加をすることは可能か。

（団体）少し多めに調理していきたいと思っているので、受け入れは可能。

（委員）ごみの処分はどう考えているか。

（団体）袋は衛生費として購入し、各自の家庭で処分する。

（委員）調理の際に出るごみはどうするのか。

（団体）生ごみは、メンバー宅の生ごみ処理機で処分する。プラや包装用紙は、各自で持ち帰る。

（委員）会場のみより幼稚園は少し寂しいところにあり、高齢者や小さい子どもは一人で行けないと思うが、何か考えはあるか。

（団体）連れてきてくれる大人を含めての食事と考えている。一人でも来たいという要望があれば、受け入れられるように方法を考えていきたい。

（委員）利用者は事前予約が基本で、親子を想定しているということによろしいか。

(団体) 綾瀬のがじゅまる食堂は、予約不要で実施している。当団体は立ち上げの段階なので、準備する量の目処をつけるため、最初は予約をとっていききたい。がじゅまる食堂は予約不要でも軌道に乗っているの、そこを目指してやっていきたい。

(委員) 事前予約かつ親子が想定となると、幅広い層に利用していただくことが難しくなる。申請書によると高齢者、育児負担、子どもの育ちの支援も想定しているが、2階の和室を使用すると記載がある。年配の方は足腰の悪い方が多いので、座って食事をするのも難しくなる。椅子なら行くが、座敷で座っては難しいという方もいる。高齢者も使いやすい場所の想定も、今後課題としていただきたい。

(団体) 団体としては、幼稚園一階にあるホールの使用を希望している（調理場が近い）。幼稚園との話し合いで、今の段階で許可されたのが2階の和室だった。問題がない運営が出来れば、ホールの使用も検討していただける。最終的には、ホールを使用したいと思っている。

(委員) 子ども食堂について、実際にお年寄りが子どもと交流を図るのは難しい部分がある。年寄り同士なら世間話ができるが、子ども相手だと何をしたらいいかわからないという方が多い。最初から対象者の幅を広げてしまうと、反対に行きにくくなってしまわないかと心配している。最初は子ども同士で遊んでいただくなど、そのようなコンセプトの方が良いのではないと思う。

(団体) 高齢者の方については、利用者としても来てほしいが、食事提供のボランティアスタッフとしても参加してほしいと思っている。その中で、ご飯を通じて交流をしていただけたらいいと思っている。

(団体) 本郷で開催することについての補足をしたい。子ども食堂は、継続が難しい。本郷という土地は、農家さんたちとの基盤を作るという点では、非常にいい場所だと考えている。ここで基盤を作っていきたい。

(委員) 会則に、お金に関する項目がないようである。団体としては、ある程度のお金を持っていないと継続が難しいのではないと思う。

(団体) 会費を設定する方向で考えている。また、賛助の会員を募る。

<プレゼンテーション終了、採点>

② 【入門編】がんサロン Petit Salon&Community Mili Mana

事業名称：がんサロン Mili Mana

申込額：100,000円

事業内容：おしゃべり会（当事者同士による情報共有及び勉強会）と講演会

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

(委員) おしゃべり会の参加対象は、子育て世代、現役治療中の方、寛解状態の方など、どのような想定か。

(団体) 参加者には、子どもがいる方、いない方、妊孕性(子どもを持つ力)が失われてしまう現状の方、子育て後にがんになった方など様々な方がいる。そのため、参加者によってテーマを変えて開催することもある。がんといっても一括りにできないので、その時の状況や判断で対象を分けることもあれば、全ての方を対象に開催することもある。

(委員) 対象は、治療中の方だけか、寛解状態の方や高齢の方も対象になるか。

(団体) どちらも対象となる。

(委員) 先日のタウンニュースに掲載されている内山先生との連携はしないのか。

(団体) 今年に入ってから先生のことを知った。おしゃべり会の中で、先生と連携を取ろうかという話も出ている。先生の勉強会に参加した人によれば、そちらの参加者は高齢の方が多く、話が合わなかったとのこと。自分(代表者)の世代が若いので、当団体が合わない人もいると思う。それぞれの会があり、自分に合うところに行っていたらいいと思う。個人としても、先生とお話したいと思っているので、今後お尋ねしてみたい。

(委員) スタッフとして、通常何人くらいいるか。講演会には多数のスタッフが必要だと思うが、手配はできそうか。

(団体) おしゃべり会では、がんの当事者が2名、手伝いが3~4名いる。働いている方や子どもがいる方もいるので、毎回全員来るわけではない。講演会は、都合がつけば手伝える方もいるが、相模原市、厚木市、茅ヶ崎市、横須賀市でがんピアサポーターをしている友人がいるので、手伝いに来てもらおうと思っている。

(委員) イベントに参加した際にグッズ販売をされているが、グッズはどのようなものか。また、寄付金5万とあるが、一般の方からか、企業からか。

(団体) ピンクリボンをデコレーションした手作りのチャームなどを販売した。寄付金の5万は、私(代表者)がCVポート(医療器具)を身体内に入れており、その体験談を寄稿した際に、企業から寄付として頂いた。

(委員) 収入を工面する方法は考えているか。

(団体) 現状は、自分の持ち出しが多い。このまま今後継続することは難しいので、講演会でのPR、賛同していただける方から寄付をいただくような形をとってみる、グッズのネット販売を行っていく、多方面から活動資金を集めるなどしていきたいと思っている。

<プレゼンテーション終了、採点>

③ 【充実編】 自主夜間中学「えびなえんぴつの会」

事業名称：自主夜間中学「えびなえんぴつの会」

申込額：200,000円

事業内容：勉学の機会を持てなかった方々に、週一回教科学習の場を設け、支援する。
また、10月には出前講座を開催する。

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

- (委員) 参加者の方々が、熱心に勉強しているのを拝見している。団体に高校生が2名所属しているが、どんなことをしているか。
- (団体) 海老名高校の2年生で、それぞれ英語と数学を担当しており、小中学生を見てもらっている。
- (委員) 小学生は、自身の教科書等を持ってくるのか。
- (団体) 教科書を持参している。
- (委員) 前回、赤字になったと聞いている。財政基盤がないとなかなか続かないが、その辺はどうか。
- (団体) わずかだが寄付を頂いている。市の補助金がないと、少し大変だと思っている。

<プレゼンテーション終了、採点>

④ 【自立編】海老名で「第九」を歌おう会

事業名称：えびなベートーヴェンコンサート 運命&第九 2020

申込額：300,000円

事業内容：合唱団を公募し、プロのオーケストラの演奏をバックに市民参加型の第九演奏会を作り上げる。

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

- (委員) 前は厚木、綾瀬と時期が重なっていたが、今回はどうか。
- (団体) 文化会館に確認したところ、前日に神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートがあるが、内容は重なっていないようである。他市については、まだ確認できていない。
- (委員) ホワイエのコーヒーサービスは、有料販売か。
- (団体) レインボードリームの協力をいただき、有料で実施する。
- (委員) レインボードリームの入収入になるのか。
- (団体) そのとおりである。担当者は、とても助かっていると仰っていた。
- (委員) 今年度の試みとして、母子家庭の会に招待券を送るということだが、どのような会なのか。
- (団体) 自分が代表をしている。素晴らしいコンサートになると思うので、ぜひ招待したいと思っている。
- (委員) 無料招待か。
- (団体) 無料である。
- (委員) 母子家庭の会というのは初めて聞いたが、公的な会か、個人が始めた会か。
- (団体) 個人的な会ではなく、連絡協議会である。(一般財団法人神奈川県母子寡婦福祉連絡協議会)
- (委員) 所属されている方にお配りするのか。

- (団体) 確認を取り、来ていただけるということであれば、チケットをお渡しする。
- (委員) 市内だけではなく、県レベルか。
- (団体) そのとおりである。
- (委員) 今泉中、海西中学校、海老名高校の合唱部に声掛けをするとのことだが、その他の学校にもぜひ声掛けをしてほしい。
- (団体) 声掛けさせていただく。
- (委員) 会計報告は、役員会でのみ行うのか。規約には、役員会で報告すると書いてある。500万という大きい金額が動くので、その辺りはきちんとしてほしい。
- (団体) 事業当日に解団式を行うことや、会計の締めには3箇月程度かかることから、全員に周知するのが難しい。団体のHP上には掲載する。詳細までは隔々まで周知できていないが、会員から信用いただいていることを前提に行っている。

<プレゼンテーション終了、採点>

⑤ 【自立編】NPO 法人 grand-mere

事業名称：夏休み地域交流イベント

申 込 額：300,000 円

事業内容：「木工」「陶芸」「油絵」に関する講師を呼び、子どもたちに体験してもらうことで、事業所に通う子どもと地域の方々との交流を図る。

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

- (委員) 夏休みのイベントで知り合った方と、そのあと何か取組みを行ったか。
- (団体) 例えば陶芸教室では、星谷会のイベントで市民ギャラリーに展示していただいたり、三井住友銀行のギャラリーに展示したりした。また、12月にクリスマスコンサートを実施する際に声を掛けたりした。
- (委員) 団体に所属する子どもと一般の子どもとの交流が非常に大事だと思う。年に1回のイベントで終わらせるのではなく、今後インクルーシブを証明していくような、単なるイベントで終わらせない今後の工夫は何か考えがあるか。
- (団体) 難しい問題ではある。参加した一般の親子が施設の子どもの拒否せず、一緒の世界にいるのだな、と思ってもらうことが、小さなステップではあるが大事なことであると思う。
- (団体) 陶芸教室には、グレーゾーンと呼ばれる子どもたちの親が来ていた。教室に来てみたら差別も区別もなかったのが、療育を受けさせたいと思ってくださったとのこと。一般的なお子さんと生き辛さを抱えたお子さんたちに、差別も区別もなく、色々なところで当たり前のように接する機会を、当団体で作っていきたいと思っている。
- (委員) 陶芸33名の参加者の中で、「外部」というのは何か。
- (団体) ポスターやインフォメーションを見て参加していただいた方のことである。
- (委員) 市外からの参加者も多いと伺っている。

(団体) スタッフの1名が、厚木の同じような施設の方々と仲が良く、声をかけたらぜひ混ぜてほしいといわれた。去年は幼稚園、保育園、学童、商業保育にチラシを配ったが、同じような施設に行けば、市内でももっと参加が増えたのではないかと反省している。それを受け、クリスマスコンサートでは同じような施設に送付した結果、そちらは参加が増えた。

(委員) 今年の事業についても、この方たちは期待しているのではないか。

(団体) 先生を紹介するなど、そういった支援をしていきたい。

(委員) 例えば、高校生が当日の手伝いに入る、ということは可能か。

(団体) 大歓迎である。

<プレゼンテーション終了、採点>

⑥ 【自立編】ほっとフェスタ実行委員会

事業名称：「ほっとフェスタ2020」

申込額：300,000円

事業内容：暮らしを補う施設やサービスなどのご案内、生活ニーズの要求や相談の場を提供する。

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

(委員) 昨年の出店者からの反響は。

(団体) 「参加者やその知人が来た。」「自店が意外と知られていなかった。」「知ってもらいきっかけになった。」「店の運営方法が変わった。」「従業員の意識が変わった。」などの声を頂いている。

(委員) 広報活動に力を入れていくというお話だが、前回の広報活動費用はどれか。

(団体) 広告印刷物製本代である。海老名時間、タウンニュース、リベルタ、ポスティング、チラシなどで告知した。

(委員) ここから更に増やすのか。

(団体) 費用を増やすつもりはない。費用を無駄にしない方法に変えていく。具体的には、1箇月を使って全市内を回って宅配メニューを配布しているNPO団体があり、そちらに協力していただければ費用は抑えられるので、今見積もりをお願いしている。

(委員) この情勢なので、協賛が減る心配もある。その辺はどう考えているか。

(団体) やりたいことをしっかり伝え、伝われば、金額は少なくとも協力してくださる方はいると思うので、みんなで地域を盛り上げようという視点で、何とか資金を集められないかと考えている。

<プレゼンテーション終了、採点>

⑦ 【充実編】えびなアレルギーサークル デイジー

事業名称：アレルギー講習会

申込額：189,000円

事業内容：講習会（避難所でのアレルギー対応を学ぶ会、就学前給食試食会）

<発表団体より審査申込事業についての説明>

<質疑等>

(委員) アレルギーがある子は、給食とは別の食事が提供されているのか。

(団体) 卵、牛乳を除去した「除去食」が出されている。アレルギーを申告し、除去食を注文すれば、提供される。

(委員) 大豆や小麦アレルギーの場合は。

(団体) 除去食はない。

(委員) そういった子はどうするのか。

(団体) 親が作って持参するので、負担が大きい。

(委員) 予定している給食の試食会では、普通の給食を出すのか。

(団体) 除去食を出していただこうと考えている。こういうものを子どもが食べるのか、と確認していただき、子どももこれなら食べられる、と安心して小学校へ行っていただきたい。

(委員) 避難所生活の講演会の講師は、危機管理課なのか。

(団体) 避難所生活でアレルギーを持つ子どもがどのようなことに生活すればいいかを講演していただきたい。アレルギーを考える母の会の園部さんにもお話ししていただきたいと思っている。

(委員) 市内では、色々な地域で防災講座をやっている「災害ボランティアネットワーク」という団体がある。災害が起きた時の図上訓練をやったりしているので、そういうところの防災講座主催者と、貴団体と、連絡をとってみてはどうか。備蓄をするかしないかは、働きかけの大事な課題だと思う。防災講座をしている主催者と連携するという気持ちはあるか。

(団体) 今後考えていきたい。

(委員) 講演会の対象者は、アレルギーを持った子どもの保護者か。

(団体) そのとおりである。

(委員) 実際は保護者よりも、一般の方にPRしていく方が大事だと思う。備蓄するのは自主防災組織なので、そういった方々に働き掛けないと改善していかない。保護者に働き掛けても改善は難しい。危機管理課を通して市で備蓄整備をしてほしい、自主防災組織にこういった備蓄をしてほしい、とPRしていかないと、こういった問題は解決することは難しいと思う。保護者を対象にするのではなく、地域の方に目を向けて講演していく必要があると思う。

<プレゼンテーション終了、採点>

(3) 審査まとめ

①審査の合否について

□交付団体

- ア むんご倶楽部
- イ がんサロン Petit Salon&Community Mili Mana
- ウ 自主夜間中学「えびなえんぴつの会」
- エ 海老名で「第九」を歌おう会
- オ 特定非営利法人 grand-mere
- カ ほっとフェスタ実行委員会
- キ えびなアレルギーサークル デイジー

□不交付団体

なし

②補助金額について

- ア むんご倶楽部・・・・・・・・・・・・・・・・・・100,000 円
- イ がんサロン Petit Salon&Community Mili Mana・・・・100,000 円
- ウ 自主夜間中学「えびなえんぴつの会」・・・・・・200,000 円
- エ 海老名で「第九」を歌おう会・・・・・・・・・・300,000 円
- オ 特定非営利法人 grand-mere・・・・・・300,000 円
- カ ほっとフェスタ実行委員会・・・・・・・・・・300,000 円
- キ えびなアレルギーサークル デイジー・・・・・・189,000 円

査定額合計 1,489,000 円

4 今後のスケジュール

最終答申：3月16日（月）午前10時30分から 海老名市役所3階市長応接室

5 閉会（進行：事務局）